



2MP双方向固定カメラ ユーザーマニュアル

ユーザーマニュアル

当社製品をご購入いただきありがとうございます。ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店までお問い合わせください。

本マニュアルは下記のモデルに適用されます：

モデル
DS-2CE70DF3T-PTLXTS
DS-2CE10DF3T-LPXTS
DS-2CE10DF3T-LXTS
DS-2CE12DF3T-LXTS
DS-2CE19DF3T-LXTS
DS-2CE72DF3T-LXTS

本マニュアルには、技術的な誤りや印刷上の誤りが含まれている可能性があり、内容は予告なく変更される場合があります。更新内容は、本マニュアルの新バージョンに追加されます。本マニュアルに記載されている製品や手順については、随時改善または更新を行います。

本ドキュメントについて

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する指示が含まれています。以下に示す図、表、画像、およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により、予告なく変更される場合があります。最新バージョンのドキュメントはHikvisionウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別途合意がない限り、杭州海康威視数字技術有限公司またはその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず、一切の保証を行いません。
- 本ドキュメントは、製品のサポートに関する訓練を受けた専門家の指導および支援のもとでご使用ください。

本製品について

本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の認識

- Hikvisionは、本製品に具現化された技術に関連する著作権および/または特許権を所有します。本ドキュメントに記載されている製品は、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書のテキスト、画像、グラフィックなど、その一部はすべて Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または改変することはできません。
- **HIKVISION** およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな管轄区域における Hikvision の所有物です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

免責事項

- 適用される法律で認められる最大限の範囲において、本書および本書に記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」、「すべての欠陥およびエラーを含むまま」提供されます。HIKVISIONは、明示または黙示を問わず、以下を含むがこれに限定されない、いかなる保証も行いません。商品性、満足のいく品質、または特定目的への適合性。本製品の使用はおお客様の自己責任で行ってください。いかなる場合においても、HIKVISIONはおお客様に対し、特別損害、結果的損害、付随的損害、間接損害（事業利益の損失、事業中断、データ損失を含むがこれらに限定されない）、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任、その他いかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して生じた損害について、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知されていた場合であっても、一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの性質上、固有のセキュリティリスクが存在することを認識し、HIKVISIONは、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について、一切の責任を負わないものとします。サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品をすべての適用法令を遵守して使用することに同意し、その使用が適用法令に適合していることについて単独で責任を負うものとします。特に、本製品の使用にあたり、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含む第三者の権利を侵害しない方法で使用する責任を負うものとします。お客様は、本製品を禁止されている目的で使用してはなりません。これには大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合は、適用される法律が優先します。

© 杭州海康威視数字技術有限公司。無断複写・転載を禁じます。

規制情報

EU 適合性に関する声明



本製品および（該当する場合）付属アクセサリには、「CE」マークが表示されており、指令2014/30/EU (EMCD) および指令2011/65/EU (RoHS) に基づく、適用される欧州の調和規格に適合しています。注：入力電圧が50~1000 VACまたは75~1500 VDCの製品は指令2014/35/EU (LVD) に準拠し、その他の製品は指令2001/95/EC (GPSD) に準拠します。詳細は各電源の仕様情報をご確認ください。



指令2012/19/EU (WEEE指令) : このマークが付いた製品は、欧州連合域内で一般廃棄物として廃棄できません。適切なリサイクルのため、同等の新品機器購入時に現地販売店へ返却するか、指定回収拠点で廃棄してください。詳細は以下を参照：
www.recyclethis.info。

規則 (EU)

2023/1542 (電池規制) : 本製品には電池が含まれており、欧州連合 (EU) 規則 2023/1542 に準拠しています。この電池は、欧州連合において一般廃棄物として分別せずに廃棄することはできません。電池に関する詳細は製品資料で詳細な電池情報をご確認ください。電池にはこの記号が表示されており、カドミウム (Cd) または鉛 (Pb) を示す文字が含まれる場合があります。



適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定回収拠点へ返却してください。詳細は以下を参照：www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置はCAN ICES-003(A)/NMB-3(A)規格要件を満たしています。

警告

本品はクラスA製品です。家庭環境では電波妨害を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な対策を取る必要があります。



安全上の注意

これらの指示は、危険や財産の損失を避けるために、ユーザーが製品を正しく使用できるようにすることを目的としています。

注意事項は「警告」と「注意」に分かれています。

警告：警告を無視すると、重傷または死亡事故が発生する可能性があります。

注意：いずれかの注意を怠ると、負傷または機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告 これらの安全対策に従ってください 重大な傷害を防止する 死亡事故を防ぐため。	注意 以下の安全対策に従ってください 潜在的な傷害または 物的損害を防ぐため。



警告

- 本製品の使用にあたっては、お住まいの国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 および IEC62368-1 規格に準拠した SELV（安全超低電圧）および 12 VDC の限定電源の両方を満たす必要があります。詳細については、技術仕様を参照してください。
- コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできる状態にしておくこと。
- 建物の電気設備には、全極主電源スイッチを組み込むこと。
- 過負荷による過熱や火災の危険を避けるため、複数の機器を1つの電源アダプターに接続しないでください。
- プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていることを確認してください。
- 煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてからサービスセンターにご連絡ください。
- カメラを分解しようとししないでください。



注意事項

- 点灯したろうそくなどの裸火を機器の上に置かないでください。
- 本マニュアルの指示に従って機器を設置してください。
- 怪我を防ぐため、設置説明書に従って本機器を床/壁にしっかりと固定してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールを指で触れないでください。
- カメラを極端に高温、低温（動作温度範囲は-40°C~60°C）、ほこりや湿気の多い場所に置かないでください。また、強い電磁波にさらさないでください。
- 清掃が必要な場合は、少量のエタノールを含ませた清潔な布で優しく拭いてください。
- カメラを太陽や非常に明るい場所に向けてはいけません。
- レーザー光線によりセンサーが焼損する恐れがあります。レーザー機器を使用する際は、センサー表面がレーザー光にさらされないようにしてください。
- 本装置を、強い電磁放射や極端な高温、低温、粉塵、湿気の多い環境にさらさないでください。
- 熱の蓄積を防ぐため、動作環境には十分な換気が必要です。
- 非防水デバイスを使用中は、カメラを液体から遠ざけてください。
- 配送中は、カメラを元の梱包材、または同等の梱包材で梱包してください。
- 200 mm の距離における光線は、リスクグループ 1 (RG1) に分類されます。本製品からは、危険な光放射が放出される可能性があります。
- 点灯中の光源を直視しないでください。目に有害な場合があります。
- 装置の設置または保守作業時には、適切な保護眼鏡を着用するか、安全な距離 (0.35 m) から補助照明を点灯するか、直接光が当たらない場所で作業を行ってください。

1 ケーブルの概要

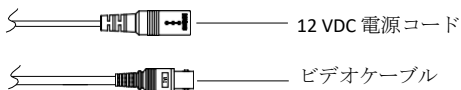


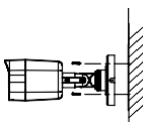
図 1-1 ケーブルの概要

注記:

ケーブルはカメラモデルによって異なります。

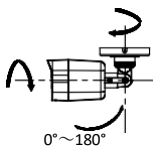
2 設置

1

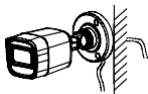


$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$

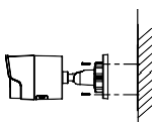
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



$0^{\circ} \sim 180^{\circ}$

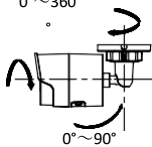


2

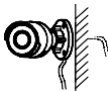


$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$

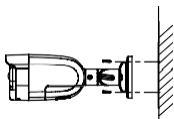
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



$0^{\circ} \sim 90^{\circ}$

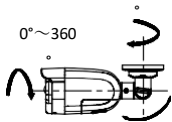


3

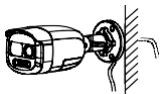


$0^{\circ} \sim 360$

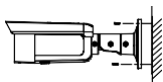
$0^{\circ} \sim 360$



$0^{\circ} \sim 180^{\circ}$

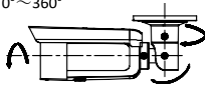


4

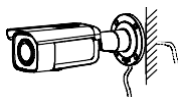


$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$

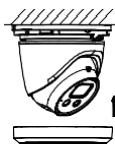
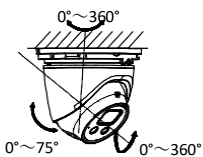
$0^{\circ} \sim 360^{\circ}$



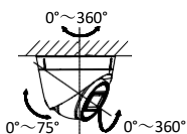
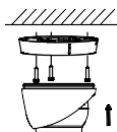
$0^{\circ} \sim 90^{\circ}$



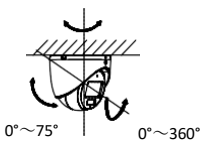
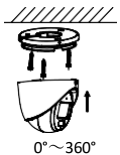
5



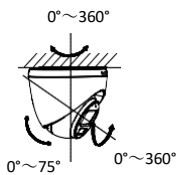
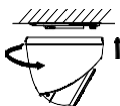
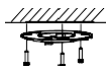
6



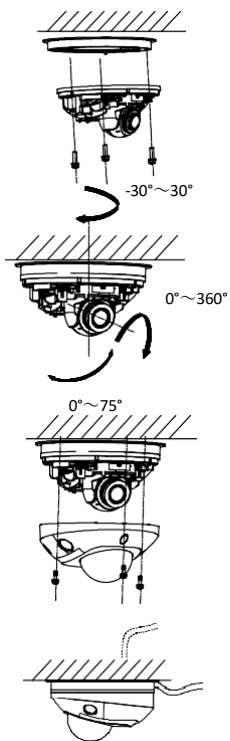
7



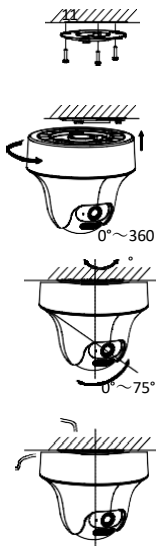
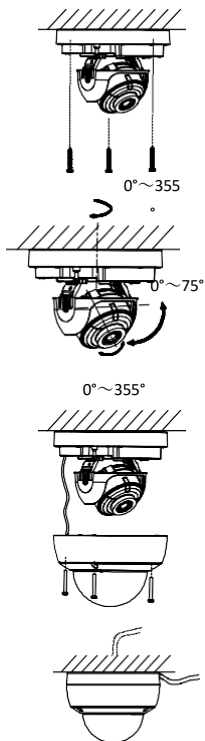
8



9



10



3 防水対策

カメラを屋外に設置する場合は、ケーブルを防水テープで防水処理してください。そうしないと、ケーブルが濡れたり、短絡が発生する可能性があります。

注:

防水テープは別途ご購入ください。

ケーブルの配線・接続後、防水テープでケーブルを巻き付けます。接続済みケーブルと予備ケーブルの両方を、下図のように巻き付けてください。

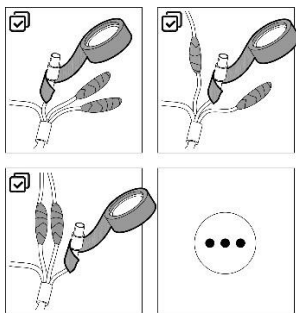


図3-1 防水処理済みケーブル

4 メニュー説明

メニューを呼び出すには、以下の手順に従ってください。

注:

実際の表示はカメラの機種によって異なる場合があります。

手順:

1. 図3-1に示すように、カメラをTVI DVRとモニターに接続します。

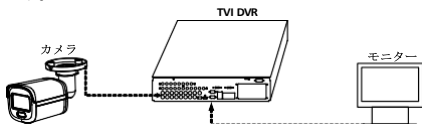



図4-1 接続

2. カメラ、TVI DVR、モニターの電源を入れ、モニターに映像を表示します。
3. PTZ コントロールをクリックして PTZ コントロールインターフェースに入ります。
4.  ボタンをクリックするか、プリセット番号95を呼び出すことでカメラメニューを呼び出します。

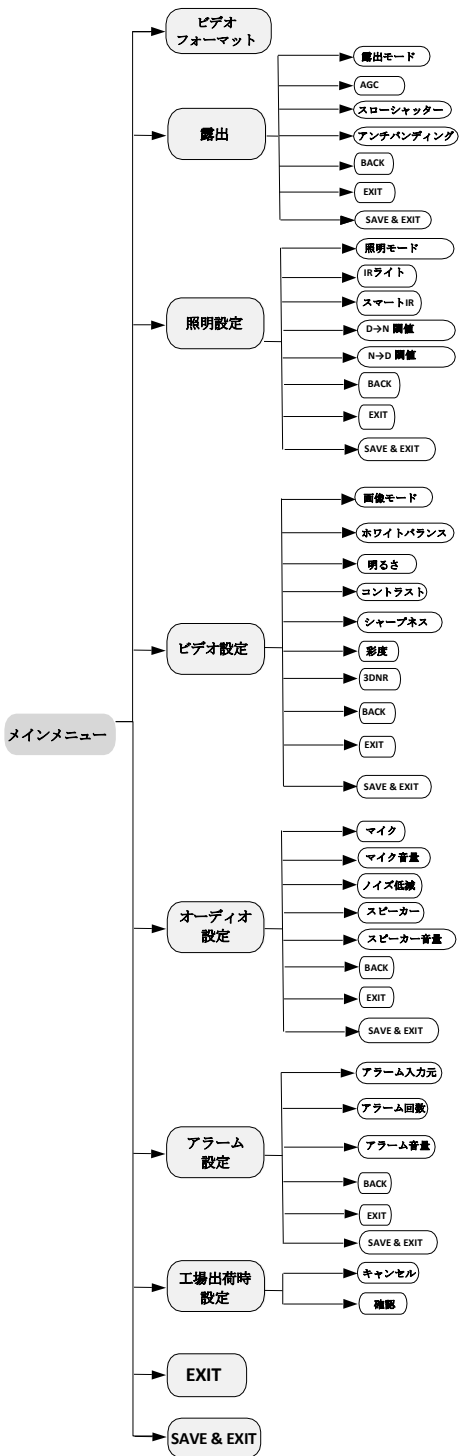


図 4-2 メインメニューの概要

5. 方向ボタンをクリックしてカメラを操作します。
 - 1). 上下方向ボタンをクリックしてメニューオプションを選択します。
 - 2). アイリス+をクリックして選択を確定します。
 - 3). 左右方向ボタンをクリックして、選択したオプションの値を調整します。

4.1 ビデオフォーマット

ビデオフォーマットは以下の通りです。

電源	ビデオフォーマット
TVI	2 MP@25 fps
	2 MP@30 fps

4.2 露出

露出モード

露出モードは、GLOBAL、BLC、HLC、DWDR、HLS に設定できます。

● GLOBAL

GLOBALは、照明の分布、変動、および非標準処理を調整する通常の露出モードを指します。

● BLC (逆光補正)

BLC (バックライト補正) は、手前の被写体への光を補正して鮮明にしますが、これにより光が強い背景が露出オーバーになる可能性があります。

● HLC (ハイライト補正)

HLCはハイライト補正を意味します。カメラは強いスポット (画像の露出オーバー部分) を検出し、強いスポットの明るさを抑えることで画像全体の改善を図ります。

● DWDR (デジタルワイドダイナミックレンジ)

デジタルワイドダイナミックレンジは、カメラに、画像内の暗い領域だけでなく、非常に明るい部分、あるいは高コントラスト領域を捉える能力をカメラに与えます。

● HLS (ハイライト抑制)

これは日食と同じ視覚効果です。画像の一部が閾値を超える明るさになると、その部分は黒くなります。これにより、画像全体が鮮明になります。

AGC (自動利得制御)

暗い環境下での映像の明瞭度を最適化します。AGCレベルはHIGH、MEDIUM、LOWに設定可能です。

注意:

AGCレベルを設定するとノイズが増幅されます。

スローシャッター

スローシャッターは、1フレームの露光時間を長くすることで、カメラの光感度を高め、低照度環境でも画像を生成できるようにします。

アンチバンディング

アンチバンディングは、低周波光や高輝度環境下で画像を撮影する際、水平線 (バンディング) 現象を防ぐための機能です。

4.3 照明設定

照明モード

SMART、IR、WHITE LIGHT が利用可能です。

▶ スマート/IR

● IRライト

IRライトは、状況に応じてオン/オフを切り替えることができます。

● スマートIR

スマートIR機能は、光を最適な強度に合わせて調整し、画像の露出オーバーを防ぐために使用されます。

● D→N Threshold (昼夜切り替え閾値)

昼から夜のしきい値は、昼モードから夜モードへの切り替えの感度を制御するために使用されます。値を1から9に設定します。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

● N→D Threshold (夜間から昼間のしきい値)

昼夜切り替え閾値は、夜間モードから昼間モードへの切り替え感度を制御します。値は1から9まで設定できます。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

▶ ホワイトライト

ホワイトライトサブメニューでは、モードをOFFまたはOFFに設定できます。

● OFF

この機能を無効にするには**OFF**に設定してください。

● AUTO

このセクションでは、**D→N THRESHOLD**および**N→D THRESHOLD**を設定できます。

4.4 ビデオ設定

ビデオ設定にカーソルを移動し、**アイリス+**をクリックしてサブメニューに入ります。画像モード、ホワイトバランス、明るさ、コントラスト、シャープネス、彩度および**DNR**を調整できます。



図 4-3 ビデオ設定

画像モード

イメージモードは画像の彩度を調整するために使用され、**STD** (標準)、**HIGH-SAT** (高彩度)、または**HIGHLIGHT** (屋内での顔のディテールを向上) に設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、カメラの白色再現機能であり、環境に応じて色温度を調整します。これにより画像内の不自然な色かぶりを除去できます。ホワイトバランスモードは**AUTO** (自動) または**MANUAL** (手動) に設定可能です。

● AUTO

AUTOモードでは、シーンの照明の色温度に応じてホワイトバランスが自動的に調整されます。

● MANUAL (手動)

R-GAIN/B-GAIN値を設定することで、画像の赤/青の色調を調整できます。



図 4-4 ホワイトバランス

明るさ

明るさとは、画像の明るさを指します。明るさの値を**1**から**9**に設定して、画像を暗くしたり明るくしたりできます。値が大きいほど、画像が明るくなります。

コントラスト

この機能は、画像の各部分の色と光の差を強調します。

シャープネス

シャープネスは、イメージングシステムが再現できる細部の量を決定します。

彩度

彩度は、総合的な色彩感覚における純粋な色相の割合です。この機能を調整して色の彩度を変更します。

3DNR

3DNRとは**3Dデジタルノイズリダクション**を指します。一般的な**2Dデジタルノイズリダクション**と比較し、**3Dデジタルノイズリダクション**機能は**1フレーム**内のノイズ処理に加え、**2フレーム**間のノイズも処理します。これによりノイズが大幅に低減され、映像がより鮮明になります。

4.5 オーディオ設定

マイク

このサブメニューでは、マイクの音声拾い込み機能を**オン/オフ**できます。

マイク音量

このサブメニューでは、マイクの音量レベルを調整できます。

ノイズリダクション

ノイズリダクションをオンにすると、音声のノイズを低減できます。

スピーカー

このサブメニューでスピーカー機能をオン/オフできます。

スピーカーの音量

このサブメニューでは、スピーカーの音量レベルを調整できます。

4.6 アラーム設定

アラーム音源

このサブメニューでアラーム音源を設定できます。アラーム音源は、サイレン、警告、注意、ウェルカム、危険に設定できます。

アラーム時刻

このサブメニューでアラーム時間を設定できます。アラーム時間は1から5まで設定可能です。

アラーム音量

このサブメニューでアラームの音量レベルを設定できます。アラーム音量は「大」「中」「小」に設定可能です。

4.7 工場出荷時設定

すべての設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

4.8 EXIT

カーソルを「EXIT」に移動し、アイリス+をクリックしてメニューを終了します。

4.9 SAVE & EXIT

カーソルを「SAVE & EXIT」に移動し、アイリス+をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。

UD40112B-A